

事務事業名	他事業関連(リニア含む)下水道整備事業【26新規】				会計	下水道		事業種別	政策	開始	26	終了		
H27担当課等名	下水道課		H27係等名	下水道整備係		H26係等名		下水道整備係						
基本計画上の位置づけ	政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり											
	施策	45	居住基盤の向上											
目的	対象(誰・何を)	他事業の進捗に伴い新設及び布設替を必要とする管路施設										指標名及び単位	26年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	・当市の公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全 ・下水道本管の新設及び布設替え										対象指標	対象管路延長(Km)	0.23
	向上させたい上位施策の成果指標	居住基盤の満足度												
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)					
	成果指標	新設及び布設替を必要とする管路施設延長 (Km)			0.25	0.23	0.1							
	定性目標													
事業概要	リニアに伴う、都計道路等交通体系及び土地利用計画の変化に対応していく。 JR、国、県、市の実施する事業に伴い必要となる下水道本管の新設及び布設替を関係機関と連携して進める。													
26年度事業内容	事業内容				名称				活動指標					
	1 他事業関連管路布設替及び管路整備 羽場大瀬木線 外4ヶ所				1 施工線路延長				1. L=231.6m					
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足								
事業費計(千円)①		0	20,877	16,562	31,600	[26特定財源] (そ)布設替工事補償金 13,909千円 (そ)使用料 2,653千円 [27特定財源] (そ)布設替工事補償金 25,200千円 (そ)使用料 6,400千円								
国庫支出金														
県支出金														
起債														
その他			20,877	16,562	31,600									
一般財源														
人件費計(千円)②		0		3,576										
正規職員所要時間				1,000										
臨時職員所要時間														
総事業費①+②		0	20,877	20,138	31,600									
事業内容・目標達成状況の振り返り	今後の人口動態・交通体系の変化を見据え、処理区域の計画変更など新しい地域づくりへの対応を進める。 関係機関等との調整により、経済的な事業実施が図られた。													
改革改善の考え方	①問題点	リニア駅周辺の土地利用計画の変更により、今後の処理区域変更が考えられる。 新規の道路整備等に伴う周辺の土地利用状況の変化を予測し、効率的な管渠の整備をいかに行うか。												
	②改革提案	第1次下水道事業経営計画(H26-30)のなかで、事業費の平準化と整備の効率を重視していく。 多方面からの情報収集を基に関係機関等との協議を密に行い経済的・効率的な事業実施を行う。												